

みなとっふ

Takanawa
Community News Magazine

高輪地区情報紙

2016年11月
Vol.31

三田4・5丁目・高輪
白金・白金台

発行：高輪地区総合支所 協働推進課
編集：みなとっふ編集室



<http://www.city.minato.tokyo.jp/takanawachikusei/takanawa/koho/saishin.html>



表紙絵 明治学院礼拝堂
【作者】佐伯 庄吾さん（高輪在住）

CONTENTS

2 地域に生きる建築

明治学院礼拝堂

3 この街にこの人あり

小山 正隆 さん

(あいはいと・みなと元施設長)



4 5 地域のあしあと

文化財をたずねて

6 地域で活躍する若者たち

北里大学薬学部北里会フットサル部

6 暮らしプレイバック

鈴木 和子さん

7 秋のおすすめ料理

リンゴ入り豚肉のロースト

7 ただいま子育て中

「食」の悩みはありませんか？

8 区からのお知らせ

新しい扉を叩いてみませんか

今から3年前、それまで約40年間過ごした会社生活にピリオドを打ち、新しい生活がスタートしました。会社退職後の将来設計を明確に決め、第二の人生を始める方もおられると思いますが、私には漠然と「地域に根ざした生活ができれば良い」程度のもしかありませんでした。幸い港区には恵まれた環境があり、港区のチャレンジコミュニティ大学（以下C大学）の存在を知り、入学しました。

C大学在学中から、地域のコミュニティ参加の手始めとして、広報の案内を見て「教室」、「講座」に参加することにより、人の関わりも少しずつ広がってきました。新しい環境のなかに入るには少しの勇気をもって一つの扉をたたくと、徐々に世界が広がっていくような気がします。それまではほとんど参加したことなかったボランティア活動も機会を見つけて行っています。周囲には日常的に活動している方も多く、尊敬の念を抱きます。一つのことを始めることが大切であると実感しています。現在進めている活動がこれからの生活の基礎の一つになることを期待しています。

新しい生活への切り替えにはまず、自分自身を変えることが必要と考えました。今まで培ってきたノウハウは役に立ちますが、過去の実績は邪魔になっても役に立ちません。情報を得る手段としては、港区が発行する「広報みなと」や港区社会福祉協議会が発行する「ボランティア情報」などがあります。より高齢に向かう自分自身の人生を活かすこと、またそれが少しでも地域に活かせることがあれば、より充実したものであると考え活動できれば嬉しいです。

最近の話題の本に「終わった人」（内館牧子著）という本があります。決して過去の「誇り」に囚われず、新しい活動が新しい「誇り」になれば良いし、「終わった人」ではなく「明日のある人」として活動したいと思っています。

みなさんも新しい扉を叩いてみませんか。

(担当) 太田

地域に生きる建築 明治学院礼拝堂(チャペル) 献堂100周年!

1916(大正5)年に完成したウィリアム・M・ヴォーリス設計の「明治学院礼拝堂」は今年で献堂100周年になります。この礼拝堂は、明治学院のシンボル、地域のシンボルとして生きてきました。小暮修也明治学院学院長から、礼拝堂についてお話をうかがいました。

■増改築、修復工事

1916年に建てられた礼拝堂は英国ゴシック様式で南北に長い長方形で、屋根に尖塔がありました。鉄筋コンクリート及びレンガ造で屋根はスレート葺きでした。1923(大正12)年の関東大震災で多大な被害を受け、震災復旧工事が行われ、鉄筋コンクリート造のバットレス(扶壁)が新設され壁の補修が行われました。



建設当初の外観

1931~34(昭和6~9)年、増改築工事が行われ、東西に袖廊が増築されました。1945(昭和20)年の東京大空襲による被害は受けませんでした。1954(昭和29)年と1962(昭和37)年には2階ギャラリーや講壇まわりの大規模な改修工事が実施されました。1971(昭和46)年には屋根が銅板一文字葺きに替えられ、内外装が現在の姿になりました。

港区指定有形文化財の指定を受け、2006(平成18)年から工事期間22ヶ月をかけて保存修理工事が行われました。保存修理の主な工事は、屋根の葺き直し、復元整備に伴う内装工事、構造耐力を補うための構造補強工事、設備機器の更新、新調するパイプオルガンの設置に伴う整備でありました。さらに、部材の有効利用・再利用を最大限図るとともに、取り外された部材は可能な限り、建物内部に資料保存材として保管しました。

■チャペルの利用

礼拝の他、明治学院大学及び高校の入学式・卒業式に使われます。荘厳な雰囲気は入学生、卒業生に評判がよいです。結婚式は年24組位で、明治学院同窓生に使われています。設計者のウィリアム・M・ヴォーリスも1919(大正8)年6月にここで結婚式をあげました。

また、ヘンク・ファン・エーケン氏製作のパイプオルガンが設置され、その荘重な響きは、海外でも高く評価されています。パイプオルガンの演奏会もしばしば開かれています。



十字架をモチーフにしたステンドグラス



銅板葺きの屋根と尖塔の対比が美しい外観



講壇を望むシンメトリーでドラマチックな内部空間



100年間使われ続けた椅子

内部空間(背後)
世界的に有名な
パイプオルガン



手のこんだ装飾を施した天井のトラス梁

■文化財指定・受賞歴

1989(平成元)年港区の有形文化財に指定され、2002(平成14)年、東京都「特に景観上重要な歴史的建造物等」に指定され、2010(平成22)年第20回BELCA賞を受賞しました。

BELCA賞は、長期にわたって適切な維持保全を実施したり、優れた改修を実施した既存の建築物のうち、特に優秀なものを選び、その関係者を表彰することにより、わが国における建築物の形成に寄与することを目的とする表彰制度です。

■献堂100周年記念行事

2016(平成28)年5月28日(土)ファビオ・チオフィーニのオルガン・リサイタルが開催され、2017(平成29)年1月21日(土)15時から「J.S.バッハのオルガン全作品シリーズVol.6」の演奏会が開かれます。この他に、2016年11月25日(金)16時半から、港区の小学校と長野県小諸市の小学校の児童と共にクリスマスツリー点灯式が記念館前芝生広場にて行われます。

※学院構内入構は事前申請が必要です。チャペル公開日等については、以下へお問い合わせください。なお、例年11月1~3日の3日間、チャペル内部を一般公開しています。

問合せ先 ●明治学院(学院長室) TEL03-5421-5230(平日9:00~16:00)

(担当/安藤、土屋、明石、森、若生)

この街にこの人あり

港区立精神障害者地域活動支援センター
「あいはいと・みなと」元施設長

こやま まさたか
小山 正隆さん

現場が大好き、人とふれあうことが大好きです

障がい者のために、いつも温かいほっとする笑顔で接している小山さん。その笑顔の秘密を知ろうと、インタビューをお願いしました。

「あいはいと・みなと」はどのような施設ですか

「あいはいと・みなと」は高輪二丁目にあり、港区で唯一の精神障害者地域活動支援センターです。基本的には港区在住の方で精神障がいのある方が社会とのふれあいの第一歩の場として、いつでも来てもらい、自由に過ごしてもらうことで日常生活の支援や相談、社会参加や自立の支援に繋がっています。

2005（平成17）年に区が運営する施設として設立、今年の4月から社会福祉法人港福会が運営を引き継いでいます。

「あいはいと・みなと」の利用者は年々増えているようですね

現在の登録者は135人で、毎日の利用者は平均25人前後でしょうか。

電話相談も行っていて、日に40〜60件はあります。対応する職員は非常勤併せて11名ですから結構大変です。電話される方が相

談することで気持ちが悪くなるように努めています。

「あいはいと・みなと」に勤務して何年になりますか

2005年の「あいはいと・みなと」設立時に区の職員から施設長として赴任してから今年の定年まで12年間勤務しました。今でもスタッフとして週に数日来ています。

「あいはいと・みなと」に赴任するまで、どのように過ごされましたか

男性も保育士になれることを知り保育士の資格を取り、保育園勤務を希望しましたが、かなわず、「のぞみの家」という障がい児の施設に赴任しました。ここで16年間勤務の後、「港福祉作業所」、西麻布児童館の館長を経て、「あいはいと・みなと」に赴任しました。今まで、ともかく現場一筋でやってきました。なにより人とふれあい、喜びや悲しみと共有できることが大好きでした。現場で過ごせたことは本当に幸せでした。

利用者さんとのふれあいに気を付けている点は

赴任以来12年間付き合ってきた方もいま



夏まつりで大うけ！ 演劇部の朗読劇

す。出来る限り同じ視点で問題を共有できるように努めています。

障がい者と一緒に、音楽を聞いたり、本を読んだりして感動を共有したりすることが大事です。感性を持つて接することが求められます。音楽会、クリスマス会、夏まつりなどいろいろなイベントを開催し、一緒に楽しみます。

一緒に食事をつくり、食べることもふれあいになりますね。この施設では、100〜200円を出して材料を買って、作る食事をよく開催しています。

勤務する中で良かったこと、楽しかったこと、一方大変だったことなど教えてください

笑顔で来館し、笑顔で帰られるのを見送る時が一番うれいですね。

悩みの相談を受け、じっくり話を聞く中で本人が自分で解決できるようになった時はこちらもうれしくなります。話を聞くことで問題は大部分解決していると思っています。一方で利用者さん同士のトラブルもあります。収めるのは大変ですが、お互い相手

の話をよく聞くことが大事です。また、利用者のみなさんが問題を共有することも必要です。職員より利用者仲間への助言に助けられる場合もあります。

「あいはいと・みなと」の運営が当初の区営から民間になり、変わった点はありますか。また、職員で大切なことはどんなことですか

仕事の責任の持ち方は変わらないうちが、区営では時間の区切りをつけてやっていたのが、民間だと今日のこととは今日のうちにやろうと考えるようになったことです。

職員は可能な限り情報を共有し、ひとりで抱え込まないようにしています。そうしないと長続きしません。時間内で対応することが課題になるため、仕事とプライベートの切り替えも大切なことです。

私自身、通勤時間が長いので、その間で、オンオフの切り替えができるので大変助かっています。

この仕事をしていく上で大事なことは、人の気持ちがかかることですね。

若い職員の方とのギャップを感じることはありますか

仕事上のギャップはあまり感じていません。大変な仕事だが将来きつと役に立つと思いつ事を永く続けてほしいですね。広く社会に出たときに答えが見つかると思います。

ギターを弾かれますね

利用者の方で素晴らしい詩を作る方がいて、曲を付けてほしいと頼まれると、ギターで曲を作って差しあげたりします。ギターも作曲も独学ですが、「ハート音楽会」で作曲した歌を一緒に歌うことも喜ばれます。音楽会は年3回開催しています。「あいはいと・みなと」では他にパソコン教室、ヨガ教室、空手、演劇などのプログラムを用意し、皆さんが楽しい時間を過ごしていただくようにしています。

地域との関わりについて

地域とのつながりは大切にしています。

一人ぼっちのボクへ（抜粋） 作詞 唐亀 実／作曲 小山 正隆

春になって 友だちが来て ボクを外に連れ出した
夏になって あいはいとを知り 新しい友ができた
七夕の夜 祭りの準備 音楽会
みんなが食べた食事 ボクはもう一人ではない

食べて 語り合っ て 学んで 歌って お茶して ワイワイやって
包んでくれた

ビューティフル あいはいとデイ
ビューティフル あいはいとデイ
ぼくは もう一人じゃない
ぼくは もう一人じゃない



お祭りなど地域の行事に積極的に参加することで、利用者さんが地域貢献ができて、役割をはたすことが生きる力に繋がると思っています。

地域の皆さんに障がい者のこと、施設のことを正しく理解して頂き、「あいはいと・みなと」に来て、障がいのある方の話し相手になってくれるとよいと思っています。

高輪の街をどう思われますか

「あいはいと・みなと」の周りの地域は親しみやすい街です。1996（平成8）年に通い始めたときは地下鉄も走っておらず、下町の風情の残る庶民的な雰囲気がありました。そんな雰囲気が地方の下町出身の私には溶け込みやすかったです。

取材を終えて

小山さん、本当に心優しく温かい方だなあと感じました。人との接し方、グループのまとめ方など学びべき点、教えられる点が多いインタビューでした。

（担当／吉田、安藤、土屋、太田、佐藤）



【プロフィール】 小山 正隆（こやま まさたか）

1950年4月、岩手県釜石市にて生まれる。1971〜72年、多摩芸術学園映画科。その後演劇を志し、小演劇集団で活動。1973年、故郷川幸雄さん主宰の演劇集団「櫻社」の作品に関わる。1978〜80年、東京都大田高等保育学院。1980年、港区役所「のぞみの家」勤務。「港福祉作業所」を経て「西麻布児童館」館長就任。2005年、「港区精神障害者地域生活支援センターあいはいと・みなと」施設長就任。2008年、社会福祉法人おあしす福祉会で「あいはいと・みなと」に継続勤務。2016年、社会福祉法人港福会で「あいはいと・みなと」に継続勤務。

① 木造釈迦如来及び阿難・迦葉像 (昭和63年10月26日指定) 瑞聖寺所有 (白金台3-2)

瑞聖寺は江戸で最初の黄檗宗の寺院で1670(寛文10)年に建立され、大雄宝殿の須弥壇中央に木造釈迦如来坐像と阿難・迦葉像の両脇侍立像があり本尊とその脇侍として伝存されている。

その姿は特異な像容で、目鼻立ちの太づかみな癖のある顔かたち、背丈の高いつくりや衣などには中国明代の図像を写そうとした趣が強く表れている。

木造釈迦如来像には「寛文 辛亥」(1671(寛文11)年)の銘があり、創建時に造像されたと思われる。中尊の右側(向かって左側)の阿難像は両肩を覆って衲衣(世人が捨てた布帛で縫い合わせた法衣)をまとい、袴(衣のすそ)を着け、両手を合掌した壮年の姿である。中尊の左の迦葉像は右肩を出して衲衣をまとい袴を着けて両手を胸の前で組む老相を表している。本三尊像は一具像として整い、江戸禅宗彫刻の記念的作品といえる。

お寺の日常管理で一番大切なことは防火で、喫煙を始めとした火の不始末は大惨事となるので拝観に行く人の配慮も大切である。大雄宝殿の周囲は風水の考えが反映されており、参道の曲線そして竜の鱗を象った敷石は魔力(火災)を防ぐ意味があるようだ。拝観者には、すべてにわたり、自分のことだけでなく周りに気を遣う気持ちを持って欲しいと住職の古市様のお話だった。(瑞聖寺は2017(平成29)年から暫く建物の一部改装のため、文化財の拝観ができなくなる予定です)



木造釈迦如来及び阿難・迦葉像※



国指定重要文化財の大雄宝殿(1757年再建)

地域のおしあと

港区指定・登録 文化財をたずねて

高輪地区には、寺院や学校などに多くの文化財があります。それぞれのところで、永い年月にわたり、火災や盗難などに気を遣いながら、大切に保管され、今日にその姿を伝えてます。今号では、ほんの一部のご紹介ですが、高輪地区の財産として後の世につないでいかなければと思います。

お寺は静謐な場所で、文化財を一般に公開していないところもあります。どうぞその点を十分ご理解ください。



② 紙本金地着色獅子図(襖貼付) (平成9年3月11日登録) 明福寺所有 (三田4-4)

土蔵造り風の本堂には、内陣と外陣の境界に見られる左右の余間に2枚ずつはめ込まれた江戸狩野派の襖絵があり、向かって左面が大きく右面が少し小さい。

緑・白・金色の吸い込まれるほど魅力的で美しい色彩でどっしりとした唐獅子が川で楽しく遊んでいる図柄がある。襖絵の保存状態は極めて良く、唐獅子と滝の絵は生命感あふれており、気品のある襖絵である。

この絵は構成上あと四枚あったと思われるが、江戸狩野派の絵師の作品によるもので、古い時代には変わりがないが、落款、署名がないので、いつ頃からこの寺に保存されていたのか不明である。加えて、荘厳な3つの欄間には獅子と牡丹の彫刻が施されている。



本堂襖絵(江戸狩野派)



明福寺 山門



外陣より内陣をのぞむ

③ 英一蝶筆 釈迦如来画像 (昭和63年10月26日指定) 承教寺所有 (高輪2-8)

本図の筆者は、図中の款記(署名)「北窓翁一蝶謹画」によって、江戸中期に活躍した特異な風俗画家として知られる英一蝶であることがわかる。

英一蝶は、はじめ狩野安信に学んだが、のちに独自の画風を確立し、軽妙洒落な風俗画を多く描いたことで知られる。

本図は一蝶が描いた数少ない仏画の遺例であり、「清凉寺式釈迦像」*の図像に準拠して描かれた本格的な仏画として貴重なものとされている。

承教寺の境内には、英一蝶の墓があり、現在の檀家は一蝶から数えて9代目の英信敬氏が務めている。そのご縁があったのか、先代の住職が1940年代に山梨県に住む篤信家浅川氏からこの「釈迦如来画像」が寄贈され、その後、文化財に指定された。

なにより火災等に遭わないよう細心の注意を払い大切に保管していますとの住職のお話があった。

*京都嵯峨にある清凉寺の本尊「釈迦如来像」の形式(水波状の衣文など)を模した仏像



承教寺 山門



英一蝶の墓



英一蝶筆 釈迦如来画像※

④ 漆喰造彩色天野屋利兵衛像 入江長八作 泉岳寺所有 (高輪2-11) (平成16年10月26日指定)

本像は、紋付・袴で着座する天野屋利兵衛像で、1880(明治13)年入江長八により作成された。天野屋利兵衛は、赤穂義士を助ける商人として、歌舞伎、講談、浄瑠璃などに登場し、錦絵にも多く描かれているが、実在する人物ではない。入江長八はこれらの物語から想像して作成したものと考えられる。

入江長八は、江戸後期から明治にかけて活躍した伊豆の出身の左官職人の名工である。左官の仕事をするかわら、狩野派などから絵を学んだといわれ、漆喰によるレリーフに色彩を施した鏝絵を大成させ、浅草寺観音堂、成田不動尊など各地に作品を残した。

現在、伊豆松崎町に長八美術館があり、入江長八の作品が多く所蔵されている。本像は長八数え66歳の作品で、きりりとした顔の表情、着衣の表現などに細かな神経が行き届いている。都内に残る数少ない長八の作品の一つとして貴重である。(天野屋利兵衛像は泉岳寺赤穂義士記念館に展示しています。)



天野屋利兵衛像※



泉岳寺 山門

⑤ 木造阿弥陀如来坐像 (平成14年10月18日指定) 済海寺所有 (三田4-16)

区内では数少ない平安時代後期の仏像で、当時の作風をよく伝える遺例として貴重なものである。素材はヒノキで、表面は漆箔を施している。半眼に彫られた目は細く、大衣の衣文や肉身部の表現は端正で優美な平安後期、12世紀前半から中ごろの特徴をよく示している。(像高85.0cm)

済海寺は、1621(元和7)年、この地に創建され、1859(安政6)年日本初のフランス公使館が置かれた寺院として有名。阿弥陀如来は当初よりお寺の本尊として大切に守られてきている。(一般には非公開)



済海寺



木造阿弥陀如来坐像※

※の画像は参考文献からの転載

<参考文献>「港区指定文化財 昭和54(1979)年度~平成20(2008)年度」(港区立港郷土資料館)

マダム ミムラの おすすめ料理

オープン
なしで
できる

リンゴ入り豚肉のロースト Rôti de porc

- 材料** (4人分)
- | | | | |
|------------|--------|--|------|
| 豚肩ロースのかたまり | 約700g | バター | 大さじ2 |
| ニンニク | 1片 | 塩 黒コショウ | |
| 白ワイン | 3/4カップ | タコ糸 | |
| オリーブオイル | 大さじ1 | 【付け合わせの野菜】 | |
| リンゴ(紅玉) | 1個 | ブロッコリー、カリフラワー、人参、赤パプリカなど。(さっとゆでて、バターでいためる。塩コショウ適宜) | |
| レモン汁 | 1/2個分 | | |



おもてなしのメイン料理に最適

- 作り方**
- リンゴの皮をざっとむき、1cmの角切りにして、レモン汁をふりかける。
 - 厚手の鍋に、①のリンゴを入れバター大さじ1をちらして、弱めの火にかける。時々混ぜながら、火を通す。火が通ったら、お皿に移して冷ます。
 - ニンニクは薄切りにして、かたまり肉の表面にナイフの先で切り込みを入れてニンニクを差し入れる。
 - 肉を観音開きにして、肉たたきでのばす。
 - 肉の開いた面に塩、コショウをして、リンゴをのせて巻く。タコ糸でしばり、さらに表面にコショウをふる。
 - フライパンを温め、オリーブオイルをいれ、バター大さじ1を加える。肉の表面を焼いて、焼き色をつける。
 - 肉と肉汁を厚手の鍋に移す。フライパンに白ワインを注ぎ、なべ底のこげをこそげとり、鍋に加えて、肉に火が通るまで約40分蒸し焼きにする。(この間に、付け合わせの野菜の準備をする)くしを刺して透明な煮汁ができれば出来上がり。
 - 肉を取り出し冷ましておく。煮汁の味をみて、濃ければ水を加えて煮て、ソースを作る。
 - タコ糸はずし、スライスする。
 - 肉と付け合わせの野菜を皿に盛りつけ、ソースをそえる。

ワンポイントアドバイス

なるべく厚手の鍋を使いましょう



肉の表面にニンニクを差し込む



開いた肉にリンゴをのせる



三村真喜子さん ● 高輪で30年以上、フランス料理教室トゥロワ・ヴィラージュを主宰。フランスの国立料理学校に留学し、基礎からしっかり学んだ経験を生かして、日本人に無理なく作れる本格レシピを紹介している。

(担当/滝川、森、松島、佐藤)

ただいま子育て中



子育て中のお母さん! 「食」の悩みはありませんか?

多くの母親が子育て中でぶつかるのが「食」の問題です。今回は高輪地区のお母さんたちの悩みをいくつかお聞きし、みなと保健所の「食」の専門家である管理栄養士の前田愛子さんと片岡志乃さんに、助言をいただきました。

ある共働き夫婦の食事の悩み

Q 3歳と7歳の子がいます。下の子がなかなかテーブルについて朝ご飯を食べません。時間がなくなり結局はジュースとポテトチップを食べさせてしまうことがあります。

A 3歳の子は親の注意を引こうとアピールしていますね。前の晩から朝ごはんをちゃんと食べる「約束」を決め、7歳の子にも協力を求め、食べたらず皆でほめるようにしましょう。

好き嫌いがひどいという悩み

Q 6歳と8歳の子どものうち6歳の子は好き嫌いがひどく、野菜でも形があると食べません。トンカツが好きで朝からトンカツを食べています。



A 嫌いな野菜は、形を変えて分からなくする方法や、家族が皆でおいしそうに食べることで興味を持たせる方法もあります。何か食べ物以外の、例えば親の期待に応え褒められている兄に対して、弟は好き嫌いを言うて親の注意を引こうとしている可能性もあります。学年が上がるなど環境が変わると食べるようになることもあります。

一緒に食事ができない家族の悩み

Q 子どもは肉類が大好きで野菜嫌いです。おかずは揚げ物などをスーパーで買います。父親は家でほとんど食べません。母親の朝食は時間がないためトーストを立ち食いしています。



A 連休などに、おじいちゃんやおばあちゃんも一緒に、家族の昔からの食の習慣を思い出す機会を作りましょう。料理を作る時の音や香りを家族で共有し、期待や関心を持たせ、両親揃って「おいしいね」と食卓で食べる場所を子どもに見せてはいかがでしょうか。

食材や食品添加物の悩み

Q 自宅では食材に気を遣い、無農薬の野菜やおやつも安全に気遣っていますが、お友達の家でコーラやジュース、スナック菓子が出されるので困っています。

A お友達の家で出された食べ物・飲み物の批判はしないで、「珍しいものを食べられてよかったね」と受け入れることも大切です。食事をしながら、元気な体になる食べ物の話や、食材の買い物をしている親の姿を見せましょう。何でも興味を持ち「味覚」の発達するこの時期に、友だちと食べたり作ったりすることに巻き込んだらいかがでしょうか。

●みなと保健所健康推進課健康づくり係

良く寄せられる質問に対するヒントが港区のホームページにまとめられています。

検索のキーワード

港区 栄養Q&A

表示されたページの「栄養Q&A」の中で「お母さんと子どもの食事Q&A」をクリックしてご覧ください。

(担当/本城、土屋、梶)



区からのお知らせ

毎週水曜日は午後7時まで受付

※取扱業務は限定されます。事前にご確認ください。区民課窓口サービス係 5421-7612 / 保健福祉係 5421-7085

港区政70周年記念事業 チャレンジコミュニティ大学10周年記念シンポジウムの開催

シンポジウムでは、記念講演として東京大学名誉教授の神野直彦氏に「共同体の人間関係の再生」と題して...



日時 平成28年12月10日(土) 午後1時~午後4時
場所 明治学院大学白金キャンパス 3号館1階 3201教室

どなたでもご参加いただけます。当日直接会場にお越しください。

【問合せ】 高輪地区総合支所 協働推進課地区政策担当 TEL: 03-5421-7123

平成28年度臨時福祉給付金及び障害・遺族基礎年金受給者向け給付金のお知らせ

◎対象者及び支給額

臨時福祉給付金

対象者 平成28年1月1日時点で港区に住居票があり、平成28年度分の区民税(均等割)が課税されていない方
支給額 対象者1人につき3,000円

障害・遺族基礎年金受給者向け給付金(年金生活者等支援臨時福祉給付金)

対象者 平成28年度臨時福祉給付金対象者のうち、平成28年5月分の障害基礎年金・遺族基礎年金等を受給している方
支給額 対象者1人につき3万円

※対象となる方には、9月26日(月)に申請書を発送しました。
※障害・遺族基礎年金受給者向け給付金については、年金機構からのデータを基に申請書を発送しましたが、一部の年金受給者の方はデータに反映されていないため...

◎申請方法

平成29年1月13日(金)までに、同封の返信用封筒でご返送いただくか、以下の臨時受付窓口にご提出ください。

【受付時間】 平日(土・日曜、祝日を除く) 午前8時30分~午後5時(水曜日のみ午後7時まで ※台場分室は除く)

【受付期間】

- ・芝地区総合支所(港区役所内) 平成29年1月13日(金)まで
・麻布・赤坂・高輪・芝浦港南地区総合支所・台場分室 平成28年11月30日(水)まで

給付金に乗じた振り込め詐欺や個人情報の詐取にご注意ください。

【問合せ】 保健福祉支援部保健福祉課臨時福祉給付金担当 TEL: 03-3578-2846

コミュニティ・カフェ高輪のご案内

高輪地区CCクラブが主となり運営しているカフェです。地域の人が気軽に集い、交流する場をつくることで地域コミュニティの活性化を図ることを目的にオープンしています。



また、高輪一丁目に新設された高輪区民協働スペース(HUG高輪2F)では、【コミュニティ・カフェ高輪 in HUG】としてカフェとミニ講演会を開催しております。



コミュニティ・カフェ高輪

対象 どなたでも 費用 無料
日時 毎月第2・4金曜日午後1時30分~4時30分 ※11月11日(金)・12月23日(金)を除く
場所 高輪コミュニティーふらざ2階展示ギャラリー前

コミュニティ・カフェ高輪 in HUG

対象 どなたでも 費用 無料 日時 毎月第3火曜日午後2時~4時
場所 HUG高輪2階(高輪区民協働スペース)

【問合せ】 高輪地区総合支所 協働推進課地区政策担当 TEL: 03-5421-7123

第1回港区地域福祉フォーラム ~つながり、支えあうまちをつくるため~

ともに支えあい、安心して暮らせるまちをめざし、地域福祉フォーラムを開催します。

当日は、スタンプリナーあり★先着1,000人に景品を差し上げます!



当日は、ボランティア団体や社会福祉法人、企業など地域福祉を支える200余の団体の活動紹介や発表などがあります。ぜひご来場ください!

日時 11月30日(水) 午前10時~午後4時30分 費用 入場無料
場所 高輪区民センター 主催 社会福祉法人港区社会福祉協議会

高輪区民センター区民ホール

- 10:00 開会あいさつ 10:10 老人クラブの演芸
10:30 シニア世代のファッションショー「輝く私!スマイルハッピーSHOW」
11:15~12:00 落語 落語家(真打)五明樓玉の輔
13:00 あいさつ 13:10 「みんなといきいき体操」
13:30 福祉講演会「いつも何かにときめいていよう~ボランティアが活力の源~」* 女優 藤田弓子
14:45~16:00 シンポジウム「つながり、支えあうまちをつくるため」
ファシリテーター 岡本多喜子(明治学院大学社会学部教授)
パネリスト 地域の福祉に積極的に取り組んでいる方々5人

※福祉講演会は事前申込み(11/16締切)のため、定員に満たない場合は、当日12:30に区民ホールにて受け付けます(会場先着順)。詳しくはお問い合わせください。

高輪区民センター

港社協に登録しているボランティア団体による日頃の活動発表や紹介、ミニ福祉機器展、弁護士や司法書士、ケアマネジャー等による無料相談、被災地支援物産販売、子ども交流コーナー、憩いのコーナー等があります。

詳細は、みなと社協10月号および各いきいきプラザ等に配布しているチラシをご覧ください。

【問合せ】 港区社会福祉協議会 事業・企画担当 TEL: 03-6230-0283

本紙のバックナンバーは港区ホームページ(高輪地区総合支所のページ)からもご覧になれます。

みなとつづき バックナンバー

編集だより

あいはーと・みなとの小山さんと88歳の鈴木さんから楽しいお話をうかがい、自分のこれからの生き方にとっても参考になりました。(安藤)

小山正隆さんの話を聞き、限られた方だけでなく、多くの方の協力により居場所作りをすることが必要と感じました。(太田)

あいはーと・みなとの小山さん、温かく優しいお人柄がにじみ笑顔が印象的でした。(吉田)

三田寺町にあるお寺の本堂には、堂々たる唐獅子が描かれた素晴らしい襖絵があり、非常に深い感銘を受けました。(明石)

今回インタビューに参加し、学生の方々と直接お話を聞き記事にしていく段階に携われて大変貴重な経験ができました。(阿部)

鈴木先生の「認知症が逃げていくのよ!」というお話と5分ともたない!という威勢のいいお言葉に、元気を頂きました。(伊関)

「みなとつづき」の編集会議が若返っています。学生さんも多く参加して、幅広い年齢層に楽しんでもらえる紙面ができたと思います。(梶)

今回のお料理は、美味しく見栄えがするうえに、身近な食材や調理道具で作れる貴重なレシピです。是非お試しください。(佐藤)

今年で献堂100周年となる、ヴォーリス設計の明治学院礼拝堂。地域のシンボルの一つとして、いつまでもありますように。(滝川)

高輪地区の文化財をいくつも見ることが有り感動すると同時に、それらの維持管理への取り組みの重要性に改めて気付きました。(土屋)

今回初めて取材に参加し、取材の仕方から記事の書き方まで大変勉強になりました。学んだことを次に活かしていきたいです。(中込)

食べるとは生きる基本! 健やかな子どもの発達にとって欠かせない食。よりよく食べるとより良い人生! なんだか素敵ですね。(本城)

スーパードイオ二人にお目にかかって、元気を頂きました。生活リズムがあるって大切なんです。元気の秘訣でしょうか。(松島)

豚肉のロースト、甘酸っぱいリンゴがお肉に合って、とっても美味しくできました。おうち飲み、ホームパーティーにぴったりですよ。(森)

入学式で座っていたチャペルの座席に100年以上の歴史があることに驚きました。最後の学生生活を送る明治学院のことをもっと知っていききたいと思っています。(若生)

区民編集メンバー
安藤 洋一(チーフ) 梶 昌夫 本城 光子
太田 則義(サブチーフ) 佐藤 雅子 松島 佐紀子
吉田 由紀子(サブチーフ) 滝川 まりえ 森 裕子
明石 美穂子 土屋 和夫 若生 愛香
阿部 はるか 戸部 伊織
伊関 則子 中込 有香